

ゆめサロン

便り

令和 5年

3月10日

No.530



皆様こんにちは、お元気で春を迎えられた事と思います。

コロナも大分治まりを見せるようになり少しずつ足を外に向けたくなつたところですが皆さまは如何お過ごしでしょうか。

今回の仲間の会は残念ですがゆめサロンは欠席させて頂いたのですが、四月からは第三土曜日、一時半から三時まで今まで通り保健センターを開けさせていただけますので、体調の良い方はいらして下さい。

漢方内科ご専門の大森先生や薬剤師の原田先生もいらしていただきたいと思っております。お忙しい先生方ですのでご都合にもよりますがおねがいしてみよ

うと思ひます。宜しくお願ひ致します。春とともにゆめサロンにも春が来たように思ひます。



初鳴きを聞くことが出来ました。うちの蔵の前に大きな金木犀の木があるので。えらい馴れ馴れしくさえずるなあと思つたら、幼鳥が練習しているらしいのです。嬉しくなつてずつと耳をそばだてる私でしたがきょうはこれでおしまいのようでした。今日三月の空は白くて生温い風がふいていました。



癌は患つたけど、春を楽しむ心はまだ残っていて良かったと思ひます。

今年の星々の空



よくはわからないのですが、三月十二日頃に月が土星と木星に接近するらしいとかでラインの友達が数日前から「今見てくらん見て見て」とメールがきます。星がきれいだとというんですが、うちは都会でもないのに周りの街頭が明るすぎて星はなんにもみえません。しばらくするとうちの家の上に数個の星があるからそれをいうと

「西の空に見えるでしょ、夫が迎えにいってあげんさいと言つてるよ」といいます。鈍感な私と綺麗な心の友達の星談義の夜が続きます。

昨夜は綺麗なおぼろ月が山の端からでてきてそれを写真撮つて送り会い、とうとう小林一茶の早春の句を友達がメー

ルしてきて星談義は終わりまし

た。何とも不思議な春の空です。こんなきれいな心の友達に逢えたことを感謝するこの頃ですが、そういえばがんの手術をする頃ふたご座流星群というのがありました。たくさんの流れ星です。名古屋にいる友達が見る事を進めてくれました。同じ星を見ようねと言つた友達はお星さまになりました。彼女もきれいな心の人でした。今夜も晴れて居たら星談義は続くでしょう。

やぶ椿



散歩のときにいつも探す春の花がやぶ椿、おおいぬふぐり、つくしなどですが、今年はずんずんお椿が見つかりませんでした。ところが足元にあつたのです。ヤット春が来しました。一輪挿しで咲いています。

ゆめサロン

便り

令和 5年

3月 17日

No.531

早春

みなさまお元気ですか。

寒いと言われた冬でしたがようやく春の兆しが見えて参りました。それぞれに夢をもって羽ばたいておられることとごいましょう。鶯をはじめ小鳥たちもかすんだ青空の下で楽しそうにさえずっています。私達も楽しい春に致しましょう。



クッキングおさらい(以前紹介)

一、お茶碗2杯のご飯を9百ccの水と米麴を入れて六十度に熱する



二、それを炊飯器に戻し保温にセットし、時々温度を測って布巾をかけて4、5時間おきます(召し上がり)

カモ達を みながら



ほんとに寒い冬の間、可愛い姿をみせてくれてありがとう。と心でつぶやいています。カモ達たちは私の人間関係にまで関わってくれました。私がカモ達を見て喜ぶのを知っておられる近所のおくさんが、今日はどこどここの辺りにいたよ、とメールを下さったり教えに来て下さったりします。私はリュックサックに折り畳みの椅子を入れてカメラを持って行くのです。夫から聞いた「この場所は幕渡(まきわたせ)し(まきわたせ)」といって昔参勤交代のお殿様を籠に載せて裸になった家来たちが幕を張って向こう岸へ渡ったのだ」という話を思い今はカモ達がたわむれている。椅子に座って柔らかない春の光を浴びながら遠い昔に思いを馳せるのです。もうカモ達たちは間もなく北の方に旅立つのでしよう。その日までみせて

ね。

と独り言を言いながら時のたつのも忘れて春の中でまどろみます。川の流れる音を心地よく聞きながら...



クッキング 米麴だけのあまざけ

以前ご紹介しましたのはご飯を入れた甘酒でしたが今回は米麴だけで作るあまざけをご紹介します。



材料 米麴 五百グラム
水 千五百cc

水を六十度に加熱して米麴を入れ、炊飯器に入れて保温ボタンを押す

炊飯器のふたを開け、内がまだタオルか布巾をかけて5から6時間おくとできあがりです。おためしください

今年の 花たち



早いですね。いつも四月になつてから咲くハクモクレンが綺麗にさいています。綺麗だけど黄砂に煙る中では寂しい気がするのは私だけでしょうか。そんななかでも季節は進んでいきます。

思い出とともに



中学を卒業してから 大阪で美容師になり、成功してお店を構えているおさな友達が数年ぶりに帰省してくれたので、楽しく語り合いました。気心も知れている仲間との数時間はあつという間に過ぎてしまいました。みんないろいろな経験をしたんだなあと驚くばかりでした。あの頃は人生はとてつもなく長いと思っていました。過ぎてみるとあつという間でした。もう終盤、また近いうちに会いたいと早くも次の計画をたてている私です。